

「大学で経済学を学ぶ」

経済学研究科教授・岡田章

新入生の皆さん、入学おめでとう。皆さんの多くはこれから経済学を学ぶことと思います。経済学はよく医学に例えられます。医学の目的は人間の病気を治すことですが、経済学の目的は、社会の病気である貧困や不平等をなくし、人々が幸福で豊かな生活をおくることのできる社会を作ることです。人間の病気を治すためには臨床医学だけでなく人間の体のメカニズムを研究する基礎医学が必要不可欠であるように、幸福で豊かな社会を作る経済学の目的の実現には、人間行動や経済のメカニズムを研究する基礎理論が必要です。このため、大学の経済学の授業では皆さんが高校生のときに想像していた以上に数学や理論モデルが登場します。経済学の知識を生かして実社会で大いに活躍し皆さんの大きな夢を実現するためにも、大学でしっかりと経済学の基礎理論を勉強してください。サイエンスとしての経済学の研究の歴史はまだ浅く、経済学者やエコノミストがしばしば相反する経済の処方箋を主張するように、経済学の基礎理論の研究は基礎医学と比べて十分ではありません。しかしながら、最近の経済学の発展は著しくその基礎にゲーム理論という多くの研究者が注目している分野があります（私の専門の宣伝です）。最後に、一橋大学で学ぶ4年間で皆さんにとって楽しい有意義なものであることを心より願っています。